



2026 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社パン・パシフィック・
インターナショナルホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 森屋秀樹
コ ー ド 番 号 7532 東京証券取引所プライム市場
本 社 所 在 地 東京都渋谷区道玄坂 2-25-12
道玄坂通 8 階
情報開示責任者 取締役兼常務執行役員 CAO 石井祐司
電 話 番 号 03-6416-0418 (直通)

上場廃止となった子会社（株式会社O l y m p i c グループ）に関する決算開示について

2026年 7 月 1 日付で当社が完全子会社化した株式会社O l y m p i c グループの「2027年 2 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」について、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月14日

会社名 株式会社 Olympicグループ
 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>
 代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 大下内 徹
 問合せ先責任者 （役職名） 執行役員経理部長 （氏名） 河戸 一容 TEL 042-300-7200
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期第1四半期	24,606	0.6	△364	—	△391	—	△717	—
2026年2月期第1四半期	24,454	△0.5	△154	—	△260	—	△311	—

（注）包括利益 2027年2月期第1四半期 △765百万円（－％） 2026年2月期第1四半期 △318百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	△31.24	—
2026年2月期第1四半期	△13.56	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年2月期第1四半期	65,744	20,296	30.9	883.59
2026年2月期	64,648	21,062	32.6	916.93

（参考）自己資本 2027年2月期第1四半期 20,296百万円 2026年2月期 21,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）当社は株式交換により2026年6月29日付で上場廃止となり、7月1日より株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスの完全子会社となりました。
 このため、2027年2月期の配当予想については記載しておりません。

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

当社は株式交換により2026年6月29日付で上場廃止となり、7月1日より株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスの完全子会社となりました。
 このため、連結業績予想については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年2月期1Q	23,354,223株	2026年2月期	23,354,223株
2027年2月期1Q	383,829株	2026年2月期	383,712株
2027年2月期1Q	22,970,482株	2026年2月期1Q	22,970,551株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は株式交換により2026年6月29日付で上場廃止となり、7月1日より株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスの完全子会社となりました。

このため、配当予想及び業績予想については記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年3月1日から2026年5月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策や中東情勢の影響による世界的な景気変動リスクに加え、金利上昇などによる企業の経済活動への影響が懸念されております。

個人消費は家計の生活防衛意識が強まり、節約を意識した消費行動が増えるなど、小売業における先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループの食品分野において「Olympic」は、『①カテゴリー強化、②生産性向上、③調達力強化、④ブランド認知向上、⑤地域No.1』、「あまいけ」は、『生鮮4部門の売上UPによる集客』、「三浦屋」は、『三浦屋ならではの特別な買い物体験の提供』を掲げ、「三浦屋」外販部門では新設の八王子営業所周辺エリアの新規ユーザー開拓に注力すると共に物流効率化を実現し、さらなる収益率の向上に努めております。

非食品分野においてハイパーストアは、生活雑貨、インテリア、衣料品、スポーツ・アウトドア用品、靴・バッグ等、多岐にわたる魅力ある商品を常時取り揃え、店舗改装およびレイアウトの最適化を通じて、買い物しやすくご来店いただける売場づくりに努めております。

ペット事業は、「ユアペティア」、「動物総合医療センター」、「ユアペティア・サロン」の連携により、ペットに関する総合サービス『ゆりかごから旅立ちまで』を実現すると共に、当社PB商品に特化したECサイトを開設し販路の拡大および顧客接点の強化を図っております。

DIY・ガーデニング事業は、「おうちDEPO」が、『職人さんにとって便利でお得』、『一般のお客様が気軽に買い物いただける』をコンセプトとした店づくりに努め、住宅設備事業では、「OSCホームファシリティ」が、家電販売から設備工事、施工後のメンテナンスまでをワンストップで提供する体制を構築し、他社との差別化に努めております。

自転車事業では、「サイクルオリンピック」と「OSCサイクル」が連携することで「Root One」等の独自商品のさらなるブラッシュアップ、PB電動アシスト自転車の導入および商品ラインナップの拡充を推進し、市場競争力の向上を目指すとともに、管理面では、人材の適正配置、業務効率化を通じてコスト削減を図っております。

また、以上の施策に加え、今後の事業成長に向けて顧客増加策とともに、お客様のニーズを的確に把握し、それに伴った商品を提供するための売場を展開していくためにモバイルアプリ「トコボン」を積極的に展開し、ポイントの付与とともに会員様の購入履歴およびご利用状況等のデータを詳細に分析したうえで、その結果をサービス品質の向上に活用し、企業価値の向上に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は246億6百万円（前年同四半期比0.6%増）となり、営業損失は3億64百万円（前年同四半期は1億54百万円の営業損失）、経常損失は3億91百万円（前年同四半期は2億60百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億17百万円（前年同四半期は3億11百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億96百万円増加し、657億44百万円となりました。これは主に現金及び預金、売掛金、商品の増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ18億62百万円増加し、454億48百万円となりました。これは主に買掛金の増加などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億66百万円減少し、202億96百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は株式交換により2026年6月29日付で上場廃止となり、7月1日より株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスの子会社となりました。

このため、配当予想及び業績予想については公表しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,581	5,577
売掛金	2,067	2,747
商品	9,509	10,072
その他	1,885	1,821
流動資産合計	18,043	20,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,893	10,778
土地	14,482	14,502
その他（純額）	1,901	1,809
有形固定資産合計	27,278	27,089
無形固定資産		
のれん	930	887
その他	1,565	1,539
無形固定資産合計	2,496	2,427
投資その他の資産		
敷金及び保証金	13,400	12,920
その他	3,429	3,188
貸倒引当金	—	△100
投資その他の資産合計	16,829	16,008
固定資産合計	46,604	45,525
資産合計	64,648	65,744
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,057	9,547
短期借入金	17,978	19,931
未払法人税等	147	102
賞与引当金	276	515
その他	3,794	3,534
流動負債合計	30,254	33,631
固定負債		
長期借入金	10,075	8,641
退職給付に係る負債	23	23
資産除去債務	1,088	1,091
その他	2,144	2,060
固定負債合計	13,331	11,817
負債合計	43,586	45,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	1,186	469
自己株式	△293	△293
株主資本合計	20,669	19,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	392	344
その他の包括利益累計額合計	392	344
純資産合計	21,062	20,296
負債純資産合計	64,648	65,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	22,511	22,514
売上原価	15,143	15,009
売上総利益	7,367	7,505
営業収入	1,943	2,091
営業総利益	9,311	9,596
販売費及び一般管理費	9,466	9,961
営業損失(△)	△154	△364
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	0	0
受取補償金	—	111
その他	5	15
営業外収益合計	10	132
営業外費用		
支払利息	114	132
その他	2	27
営業外費用合計	116	159
経常損失(△)	△260	△391
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	5	5
賃貸借契約解約損	2	—
関係会社株式評価損	—	47
貸倒引当金繰入額	—	100
特別損失合計	8	152
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△268	△544
匿名組合損益分配額	4	35
税金等調整前四半期純損失(△)	△273	△580
法人税、住民税及び事業税	38	46
法人税等調整額	△0	90
法人税等合計	37	137
四半期純損失(△)	△311	△717
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△311	△717

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純損失(△)	△311	△717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△48
その他の包括利益合計	△6	△48
四半期包括利益	△318	△765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△318	△765

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	472百万円	428百万円
のれんの償却額	57	43

(重要な後発事象)

(当社と株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスとの株式交換契約について)

当社は、2026年4月6日開催の取締役会において、(株)パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（以下「P P I H」といいます。）を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結し、2026年5月28日開催の当社の定時株主総会において、承認可決されました。

これにより、2026年7月1日を効力発生日として、P P I Hを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換が実施されました。

なお、本株式交換の効力発生日に先立ち、当社の普通株式は、株式会社東京証券取引所スタンダード市場において、2026年6月29日付で上場廃止となりました。